

SDGs School  
produced by Think the Earth

15

が参加できる活動を紹介していきたい、③1つの分野の活動によるゴール達成を目指すのではなく、もっと総合的な活動の重要性を伝えたい、ということでした。編集学生チームは、SDGsの本質と

みなさんこんにちは。先日、編集学生チームのミーティングで、今年度の活動で、大切にしたいことを共有し、読者のみなさんにどのような記事を届けるかについて、話し合いました。大切にしたい内容は大きく3つの軸に整理され、①身近な生活とSDGsとの関係性を伝えたい、②読者

向き合っています。SDGsの認知度は8割近くになってきました。(朝日新聞調べ [https://miraimedia.asahi.com/sdgs\\_survey08/](https://miraimedia.asahi.com/sdgs_survey08/)) よく聞く、よく見かけるSDGsですが、改めて何をしたらいいのでしょうか。そもそも、持続可能な社会とは、どういうことなのでしょう。「ミラスクール」では、編集学生と一緒に、SDGsとはつまり何なのかを、自分たちの言葉と行動で伝えていきたいと思っています。そこで今回は、編集学生の身近なSDGsを紹介し、その内容と社会課題とのつながりについてまとめてもらいました。読者のみなさんも、編集学生の記事を通じて、SDGsとはつまり何なのかを、一緒に考えてみませんか？



画像提供：BCLカンパニー

私は今年の春から中学2年生となり、友人とも美容について話すことが増えてきました。少しずつ美容に気を配るようになり、

★顔用シートマスク  
包材のプラスチック使用量が約15%削減されていたり、包材の一部がバイオマスインキで印刷されていたり、廃棄予定のフルーツや環境に還元される素材が活用されています。



○のは  
中学2年生





ドラッグストアに足を運んだ際に、お化粧品コーナーにあった商品にSDGsのマークを見つけました。

今、日本での「食品ロス」の量は約600万トンあり、中には果物も含まれています。その中ではわずかではあるかもしれませんが、そのわずかが、美容品という形に生まれ変わって世に出回るといのは、食品ロス削減に貢献できていると思えました。SDGs番号では12番、ターゲットでは12.5に該当します。



○ふるとり  
・大学2年生

【私の身近なSDGs】

★モンベルクラブの会員になって  
いること

アウトドア用品メーカーとして有名なモンベルのポイントプログラムでは、年会費の一部が基金として積み立てられ、自然保護活動や社会福祉活動、災害救援などに使われています。海外の活動にも使われており、その実績は公開され誰でも確認することができます。SDGsの全ての目標に関わっていると言っても過言ではありません。これまで私は募金活動に対してこれには募金したけどこれには募金しなかったなど引け目を感じることはありません。しかしこのポイントプログラムでは会員になるだけで、自分の知らない活動の支援ができ、貯まったポイントを基

金に回すこともできます。当然、お得な特典もあります。自分の買物が世界の問題を解決する手助けになるのは素敵だと思いませんか？



○みのり  
・高校2年生

【私の身近なSDGs】

★野菜中心の生活

私はもともとお肉があまり好きではないので、野菜中心の食生活を送っています。でも、もう1つ理由があってそれがSDGsの13番「気候変動に具体的な対策をとる」にも関わるのです！実は、お肉を育てると気候変動の原因となる





温室効果ガスが大量に発生します。それだけでは無く、畜産には沢山の土地や餌が必要になります。私はこれを知ったとき、自分の生活が環境問題に関わっていることに驚きました！ 小さな一歩ですが、食生活を少し変えてみることでSDGsに関わると思うとワクワクしますね！



○みなみ  
・高校2年生

【私の身近なSDGs】

★意外とかんたん！ フードドライブ

食品を集め、食品を必要としてい



る福祉団体や子ども食堂に届ける活動です。全国の市区町村の施設やコンビニエンスストアで、食品回収が行われており、缶詰、お菓子、乾麺などの未開封の食品を寄付できます。また、フードドライブで食品を回収する側のボランティアを募集している地域も多くあります。現在、世界全体では十分な量の食糧が生産されているにも関わらず、世界の約10人に1人は飢餓状態にあるとされています。



日本でも、子ども、子どもの7人に1人が



相対的貧困の状況にあると言われるっており、満足な食事を摂れない子どもが多く存在します。フードドライブは、食品ロスを減らしながら、SDGs 2番「飢餓をゼロに」を達成していくために、身近で始めやすいアクションだと思います。



『てらスクール』では今月号まで、編集学生を募集しております。

私たちと一緒に、SDGsと向き合い、本質を学び、『てらスクール』というメディアを通じて発信をしていきませんか？ 初心者大歓迎!!! 一緒に未来のことを考えましょう!!!

メンバー募集

2021年度の  
記事

